

2020年6月19日

トヨタモビリティ東京株式会社

「新型ハリアー決起大会」を初のオンラインで開催

トヨタモビリティ東京（社長 片山 守）は、6月18日（木）、これまで部長、店長ら約300名が一堂に会して行ってきた「新型車決起大会」を、当社初となるオンラインで実施した。

当社は新型コロナウイルスの感染拡大以前から、全拠点にTV会議に必要な設備（Microsoft Teams、BIG PAD）を導入済みであり、本年4月、政府の「緊急事態宣言」発令により本部スタッフの8割が急遽、在宅勤務を強いられた中でも、社内会議や外部との打ち合わせをスムーズにwebに移行することができた。

その中で得られた知見（移動時間や移動に掛かる費用の削減、会議室の調整不要、隙間時間の活用など）に基づき、政府の提言する「新しい生活様式（ニューノーマル）」に対応すべく、今般の「新型ハリアー」発売に伴う決起大会をオンラインで行った。

当日は、約200名の店長は都内15エリアに分かれて会議室に、部長は本社の会議室に集まったが、いずれも少人数のため、十分なソーシャルディスタンスを確保することができた。その他の管理職は自席のパソコンから参加することで、これまでと同レベルの約300名が参加した。

緊急事態宣言発令中の4～5月は、「自動車整備は社会経済生活に必要なサービス」との政府見解に基づき、時短や臨時休業などの対応を取りながら営業を継続してきた。

「東京アラート」も解除され、これから全社一丸となってV字回復を目指すべく、決起大会での決意表明の宣誓は、代表として、大森店 三浦 栄二 店長がwebを通じてエリアの全店長に向けて発声し、都内各所のオンラインメンバーは、反転攻勢を誓い勝鬨をあげた。

当社は、今後数年に亘るであろう「新たな生活様式（ニューノーマル）」に対応した新たな手法や施策にチャレンジしながら、お客様と従業員の安心・安全の確保、ならびに東京のモビリティカンパニーとして、新たなスタイルを実現して行く。



＜本社会議室からwebで中継する様子＞



＜店舗会議室から決起大会に参加する様子＞

以上

トヨタ モビリティ東京株式会社

<https://www.toyota-mobi-tokyo.co.jp>

ご取材の問い合わせ：CSR推進部広報グループ 中川

TEL 03-5439-2430 FAX 03-5439-8244